



カンボジア教育省に絵本を届けた太田さん（左から3人目）と太田社長（同2人目）ら

同年に村の子どもたちが描いた絵に真琴さんが文を添えた絵本「バダク村のかずえほん」を作成。翌18年12月には「チュムくんのぼうけん」を仕上げた。身近な人の大切さに気付いた少年が立派に成長するという長が同行した。

# カンボジアへ絵本350冊

## 完成7年、震災の恩返し

太田さんは、東日本大震災でカンボジアのバッターン州バダク村から義援金が届いたことを知り、当時福島高1年だった17年8月から、姉真琴さんらと共に恩返しするボランティア活動を始めた。同年に村の子どもたちが描いた絵に真琴さんが文を添えた絵本「バダク村のかずえほん」を作成。翌18年12月には「チュムくんのぼうけん」を仕上げた。身近な人の大切さに気付いた少年が立派に成長するという

カンボジアの子どもたちの教育を支援する「サンキュー・カンボジア・プロジェクト」に取り組む二本松市の太田朝弓さん（お茶の水女子大学院教育開発研究室在籍）は、現地の子どもたちの絵で制作したオリジナル絵本「チュムくんのぼうけん」350冊をカンボジア教育省に贈った。当初、2020年に届ける予定だったが、新型コロナウイルス禍で渡航できず、5年越しで夢が実現した。

二本松 太田さん贈る

▲10月27日 福島民友新聞掲載

### 記事から知り得たこと

---



---



---



---



---

### 疑問に思ったこと、調べてみたいこと

---



---



---



---



---

### 調べてわかったこと、考えたこと

---



---



---



---



---

「サンキュー・カンボジア・プロジェクト」に取り組む太田朝弓さんのボランティア活動について、ネットの情報なども参考にして、あなたの感じたことをまとめてみましょう。

